



2026年2月13日

各位

会社名 株式会社雨風太陽
代表者名 代表取締役社長 高橋 博之
(コード番号: 5616 東証グロース市場)
問合せ先 コーポレート本部長 楡金 和哉
(TEL.03-6278-7890)

通期業績予想値と決算値の差異及び 特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期通期業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)と、本日公表の実績値に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

また、2025年12月期第4四半期会計期間(2025年10月1日~2025年12月31日)において、特別損失(減損損失)を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 通期業績予想値と実績値の差異について

(1) 2025年12月期通期業績予想値と実績値との差異(2025年1月1日~2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,182	8	26	25	10.57
実績値(B)	1,027	△7	20	△4	△1.71
増減額(B-A)	△155	△15	△6	△29	
増減率(%)	△13.1	—	△22.3	—	
(参考)前期実績 (2024年12月期)	1,021	△155	△160	△163	△67.92

*2025年12月期第1四半期よりインパクト共創室を設置する組織変更を行っており、インパクト共創室が稼得した講演料等の収益は売上高として表示しています。これにより、2024年12月期において営業外収益として表示されていました同収益は、売上高へ組み替えております。

(2) 差異の主な理由

2025年12月期は、2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期通期業績予想に対し、売上高及び営業利益は業績予想を下回る着地となりました。また、産直アプリ「ポケットマルシェ」を活用したALPS処理水関連の販路拡大支援事業に係る補助金収入26百万円等により経常利益は業績予想から△22.3%下方の20百万円となりましたが、上場以来初となる経常利益の黒字化を達成しました。一方、「2. 特別損失(減損損失)の計上について」に記載の通り、特別損失としてのれんの減損損失29百万円を計上した結果、当期純利益は業績予想を下回る着地となりました。

セグメント・事業別にみると、個人向けサービスのうち食品事業では、主に産直アプリ「ポケットマルシェ」で販売する自社開発商品(サブスク・アソート)のうち、収益性の低い商品を整理したことにより前期からやや減収となり業績予想を下回りました。旅行事業では子ども向け企画旅行「ポケマルおやこ地方留学」の夏プログラムを全国7地域で催行し、前期の143家族を上回る186家族が参加しましたが、地域ごとに人気の差があり、準備した2地域で催行に至らないなど、当初目標の300家

族に達しなかったため、前期から増収となったものの業績予想を下回りました。その結果、個人向けサービスの売上高は業績予想から△16.5%下方の726百万円、営業利益は業績予想から△22.4%下方の170百万円となりました。また、法人向けサービスの自治体事業では、食領域における産直アプリ「ポケットマルシェ」を活用した流通支援だけでなく、「新しい地方経済・生活環境創生会議」において当社代表の高橋が有識者構成員として提言した「ふるさと住民登録制度」の創設を背景とした関係人口領域、個人向け旅行サービスのアセットを活かした海業や農泊等の旅行領域での新規案件の受託が増加したことで、令和7年度の国や地方公共団体からの受託事業の総数が過去最高となる60案件を超え前期から増収となりましたが、売上高は業績予想をやや下回りました。その結果、法人向けサービスの売上高は業績予想から△3.7%下方の301百万円となりましたが、関係人口領域や旅行領域といった新規案件の利益率が比較的高かったことで営業利益は業績予想から+54.8%上方の48百万円となりました。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

2025年4月に事業譲受しました宿泊予約サイト「STAY JAPAN」について、当初の事業計画においてシステムの機能拡充やインバウンド向けのマーケティング強化による成長を図っておりましたが、事業運営の体制構築に想定より時間を要したことで業績が当初の事業計画を下回って推移しました。これにより「STAY JAPAN」の成長戦略を見直したことで当初見込んでいた事業成長のスピードが緩やかとなったことから、事業譲受の際に計上したのれんについて「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額することとなり、2025年12月期第4四半期会計期間において減損損失29百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上